

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2026 年 2 月 6 日	
みずきキッズクラブ 放課後等デイサービス事業所		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	1	・時間のある時は体育館を借りたり、公園等での時間を取り入れている。省スペースでも体を動かせる取り組みも考え実施している。 ・部屋数が少ないため、パーテーションやマット等で構造化している。	・基準以上は満たしているものの、静と動が確保できない。体を思いっきり動かすとなると手狭である。体を思いっきり動かせる場所を確保できたらと感じてはいる。 ・小集団や個別での活動をするに、もう少し部屋数があれば良いと感じる。 ・クールダウンする場所等がもっとあれば良いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	0	・個々の能力に合わせ部屋別やパーテーションで区切る、作業工程を分ける等、職員配置も考慮工夫している。	・基準は満たしているが、不足していると感じる面がある。個別支援や小集団での活動となると、もう少し人手があれば感じる事も良くある。 ・日によるが職員はいた方が周りを良く見れるので良いと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	0	・環境を常に整え、子ども達が利用しやすいように変えている。	・バリアフリー化はしているが、車いす対応は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	1	・Airdogを設置している。また毎日の清掃も取っ手や玩具等も含めアルコール消毒を実施している。 ・床暖房が備え付けられており、裸足で過ごしても温かみがある。	・体を思いっきり動かせる場所の確保。 ・児発のお昼寝時に外出をせずとも過ごせる場所の確保が必要。 ・利用者様が10名以上となると窮屈さを感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	0	・個人によって対応できるように配慮している。 ・大きな部屋を活動によって個別に区切る等の工夫をしている。	・利用人数に対し、部屋とし個別で過ごせるスペースは足りていないと感じる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	2	・会議や毎朝のミーティングの実施をし共有できるようにしている。	・少しずつ会議などを増やすように計画はしているが、現状支援が優先となり先延ばしになってしまいう事もある。話し合う時間を作っていく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	0	・朝礼や会議を設け、ご家族様からの意見を周知している。またその他にも送迎時や面談時などにも意見を聞くなどし業務改善に繋げている。	・ご家族様から頂いた貴重なご意見を共有し、常に向上できるよう、ご満足いただけるよう取り組んでいく。 ・その時は周知し気にかけるも、時間が経過すると薄れてしまう事もあり、再度周知、確認が必要と感じる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	1	・職員会議や朝礼で周知、また時間があれば意見交換等をし情報共有を行っている。	・会議等は設けてはいるが、まだまだ少なく感じている。コミュニケーションを密に取り同じ報告を向いて支援できるようにする。 ・定期的に取り組めるように計画していく必要性がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	2		・現在、第三者評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	0		・研修の機会が少なかったと感じる。義務化されている研修を行うだけでも日程合わせが大変な現状。多くの研修に参加できるよう計画していく。 ・研修に出ると人手不足になることが多く、積極的参加が難しい。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	・ガイドライン、5領域、4つの基本活動に沿ってプログラムを立案し実施している。支援プログラムはホームページに公表している。	・ご本人様、ご家族様のニーズを把握しながら、ガイドライン等に合わせ日々のプログラムを作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	0	・モニタリング時及びその他送迎時など、課題やニーズを聞き計画に落とし込んでいる。また職員間でもしっかり分析、対応できるように努めている。	・ケース会議等を実施しているものの、まだまだ会議の時間不足と感じている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	0	・会議等を設けながら職員間で意見を出し合いながらしている。 ・日頃直接支援をしている職員から、更に現状と課題について聞く事で、より課題を共通理解し取り組んでいく事ができる。	・周知できているが実施の面で統一っていない所もある為改善が必要。 ・ケース会議等を実施しているものの、まだまだ会議の時間不足と感じている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	・全員が目を通すようにしている。また計画を作成するにあたり、会議を実施し、支援の方向性の確認等実施している。	・周知できているが実施の面で統一っていない所もある為改善が必要。 ・計画に対し、職員も意識をもって取り組む必要があると感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	2	・皆で案を出し合いながら楽しみながらできる活動を考えている。 ・全ての職員が参加できるようにしている。	・詳細部分は個人担当になっている部分も多く、負担になっていると感じる。準備する時間を確保できるようにする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	・固定しないようにアイデアを出し合ったり、固定のプログラムでも継続が必要な物など工夫しながら取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	1	・個の状況と、ご家族様のニーズ、また職員からの課題も聞き取りし作成、実施している。 ・集団での活動が主ではあるも、必要時には個別の活動も実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	1	・サービスの担当者同士で支援前に情報を共有したり、朝礼で確認、ケース会議等も開催し情報共有できるように工夫している。	・支援に追われ、できていない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	1	・送迎等もあり全体では難しいが、各々サービスに関わった職員同士で振り返りし、共有した方が良い事や疑問に思う事等は朝礼や会議に落とし込み話し合っている。	・送迎があり、全体では難しい現状である。 ・記録に精一杯で勤務時間内で話ができない事がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	0	・システムの活用で対応できている。 ・日々の記録を取る事で、モニタリングや担当者会議等の際に振り返り、成長や課題点などが見える。	・もう少し詳しく記載できる所があれば良いと感じる。 ・検証までは繋がっていないと思う。振り返る余裕がない。 ・記録に集中し過ぎて支援に影響が出る事もある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	・会議を実施し見直しの必要性を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	0	・偏りがないように活動を組み立てている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	0	・活動の中で自己選択できる事も多い。 ・自分で時間を決め取り組むなど、自己決定する力を養えるよう取り組んでいる。	・自己選択、自己決定、自己解決できる経験を積めるよう支援していく。 ・人によって対応が異なる事がないように改善が必要と感じる。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	・実際支援に関わっている支援者も時間が合えば参加し、現状報告と連携について把握できるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	0	・担当者会議では相談支援や保健師、保育所、学校等関係機関が参加し連携して支援を実施している。	・関係機関によっては所もある為働きかけが必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	0	・下校時刻の変更についてはご家族様からだけではなく、学校からも連絡を頂くようお願いしている。	・下校時間の変更や連絡などでミスがある事がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	1	・児発からの継続利用でない方については、実際の様子を保育園等に見に行かせて頂き情報の共有をさせて頂いている。	・全ての人ができていないわけではない為、皆できるように努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	1	・現在対象となる児童はいない為実施した経緯はないが、対象児童がいる場合には移行に向けての取り組みと、就労先への情報提供等実施させて頂く。	・現在まで対象者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	0	・自立支援協議会こども部会の中で、話し合いなどをする機会を設けている。	・現段階では実施していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	1	・活動する機会はないが、地域資源を積極的に活用し、地域のお友達と接する機会を設けている。	・学童等との交流は相手方の考え方やプログラムもあり時間配分が難しい。 ・コロナ禍になってからは感染リスクも考えると集団での交流をお願いする事は難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	2	・積極的に参加し、地域課題や支援課題等に取り組んでいる。また、学校の先生方との交流の場ともなり意見交換等できている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	・システム上で連絡や送迎時等に保護者様や学校の先生、関係機関との情報の共有をしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	0	・外部研修等の情報提供を実施している。ポスターやチラシ等玄関に貼り出し、自由に持っていくことができるよう備えている。	・現在実施はしていないが、モニタリングや送迎時等に相談は受け付けており、何かあれば助言等させて頂いている。 ・研修への参加等で職員が対応できるように体制を整えていく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	0	・契約時に説明し、それ以外に質問やご相談があった際には都度説明させて頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	・必ず計画作成時には意向を確認し、計画に反映できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	0	・同意を得てサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	・モニタリング時には勿論、他にもご相談のある時にはお声がけ頂くよう話をさせて頂いている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	2		・現在は実施されていない。今後イベント等を企画し交流の場を設ける事が出来たらと検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	0	・苦情対応の整備はしてある。実際苦情があった際には迅速に対応する。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	1	・定期的とはいかないが保護者様向けにシステム上でみずきの様子を時折アップしている。 ・活動プログラムはホームページ上で公表している。 ・全体的な重要なお知らせはホームページ上に公表させて頂いている。	・SNSに関しては、親御様の意見も踏まえ、HP上等誰もが見れる所へのアップは控えている。 ・月予定等については、この先発信していけるよう検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	・個人情報同意書を含め、SNS等の活用についても確認している。システム上写真を載せる為、他児への連絡帳への掲載には気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	1	・事業所だけではなく関係機関も交え、情報を共有しながら誰でも対応できるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	1		・今年は開催を見送ったが、相談支援事業所の方や関係機関の方へお声がけさせて頂きイベントを実施した経緯はある。イベント等を企画し地域の方を招いた活動も実施できれば良い。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	0		・マニュアルは策定し、ご家族様へは契約時に簡単ではあるも周知している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	0	・BCPの策定をし、訓練も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	2	・アセスメント時に確認し対応をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	1	・医師の指示書は頂いていないが、ご家族様より確認している。アレルギーがある場合には、対象の物については完全除去させて頂いている。 ・学校等へ提出している方については、コピーを頂き控えて頂いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	0	・設備点検や送迎時の安全確認、交通ルール等の確認を実施し、安全に過ごせるように努めている。	・作成はしているが、十分な訓練がまだまだ不足していたり、訓練や実施が計画通りにいかない。研修や訓練を実施し安全に支援できるようにしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	0		・大まかな説明になっている為、ご家族様が確認できるようアプリ内への共有を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	0		・ヒヤリハットや事故があった際には予防策も含め書面を起しているが、全体で検討する機会が少ない。都度検討し安全に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	1	・内部、外部研修を実施し共有するようにしている。 ・入職時にも研修を実施している。 ・セルフチェックシートを用いて、自分の行動の振り返りを実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	2	・現在身体拘束を必要とする利用者様はいない為実施する事はないが、必要時には計画に落とし込み、保護者様へ説明し実施。実施した内容は記録に残すようにする。研修も実施している。	